

## 防災教育を軸とした教科横断的な学習（行事・総合・他教科） 実践報告

### 1 総合的な学習の時間での実践

#### 【神岡中学校防災学習のねらい】

- ・状況を応じ適切な行動を自分で判断し、安全に避難することができる。
- ・地域の一員として他者の安全確保に主体的に関わることができる。
- ・日頃から自らの身を守る判断力をもつことができる。
- ・地域の一員であることを自覚し、災害が起こった際の影響を想像し地域の安全を守るために何ができるかを考えることができる。
- ・自然災害の歴史や発生する仕組みについて理解し、適切な準備をすることができる。

#### 【1年生】

- ・風水害24...災害シミュレーションゲームを通して、災害時の自助・共助を学ぶ。
- ・防災基礎講座...防災の基礎知識を正しく習得し、地域の一員として神岡町での自助・共助・公助について考える。

#### 【2年生】

- ・職場体験学習x防災①...各企業がもつ防災面の強みを把握し、その企業が神岡町にあることで防災上どのような役割を果たしているのか理解する。
- ・職場体験学習x防災②...考えていたことと実際体験して分かったことを比べ、改めて企業がもつ防災面の強みや弱みを考える。また、その企業に対して防災意識啓発として自分たちができることを考える。
- ・共助とは?...共助とは何かを学び、共助がなぜ必要なのか理解する。また、災害を自分事として捉え、自分には何ができるのかを当事者意識をもって考える。

#### 【3年生】

- ・公助とは?...災害時に備えて市としてどんな備えをしているのかを知る。また、公助はどのような安心安全のためにあるのか、市民としてどのような活用の仕方ができるのかを理解する。
- ・避難所設営シミュレーション...神岡中学校を避難所として開設する際に、避難所設営を主導できる知識を身に付ける。また、ただ場所を開放するだけではなく心理的な安心感を抱かせることも必要であることを知る。

